

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和8年度 第3号

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

当校 HP
にも掲載

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

通級指導教室 担当:千野 彩乃

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

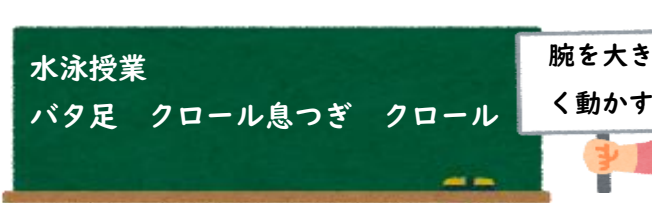

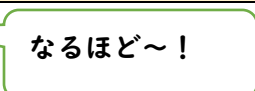


Tel. 0258-38-0210(通級直通)

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

水泳授業が始まります

6月から水泳授業が始まる学校が多いと思います。補聴器を外すので、(もともと補聴器を使わない難聴のある児童生徒も)水泳授業もききとりにくい場面の一つです。以下のような場面でご配慮いただけるとありがたいです。また、補聴器は精密機械なので水や湿気は故障に繋がる大きな要因です。補聴器の紛失、故障を防ぐ配慮にも、ご理解をお願いいたします。

水泳授業で行う内容を教室で事前に板書で確認する。プールサイドではホワイトボードを活用する。	活動の始まりや終わりの合図は視覚的にわかる旗などを用いる。ホワイトボードにも記入する。
 <p>水泳授業 バタ足 クロール息つき クロール</p> <p>腕を大きく動かす</p>	 <p>動きの様子などの身振りも大事な情報です!</p> <p>10分 休憩</p>
2列目以降の順番であると、前の友達の様子を見て、何をするのがわかりやすくなる。	指導はやや大きめの声で。友達からの情報も大切。
 <p>なるほど~!</p> 	 <p>ビート板を使います。</p> <p>何?</p> <p>ビート板を使うって。</p>

☆一人一人きこえ方やきこえにくさが異なるので、全て同じ支援をする必要はありません。練習の様子や本人の希望などから、各学校の実情に合わせて支援をお願いいたします。「きこえにくいのでこうしてほしい」と自分から伝える力を育てることも大切です。

水泳授業前後の補聴器の取り扱いについて

授業前に保健室や職員室などに補聴器を預ける。

着替えを終えた後に髪を乾かす

耳に水を残さない

失礼します。補聴器を預かってください。ケースに入っています。



仕上げに綿棒で優しく耳の中の水分を拭き取るのも有効です。

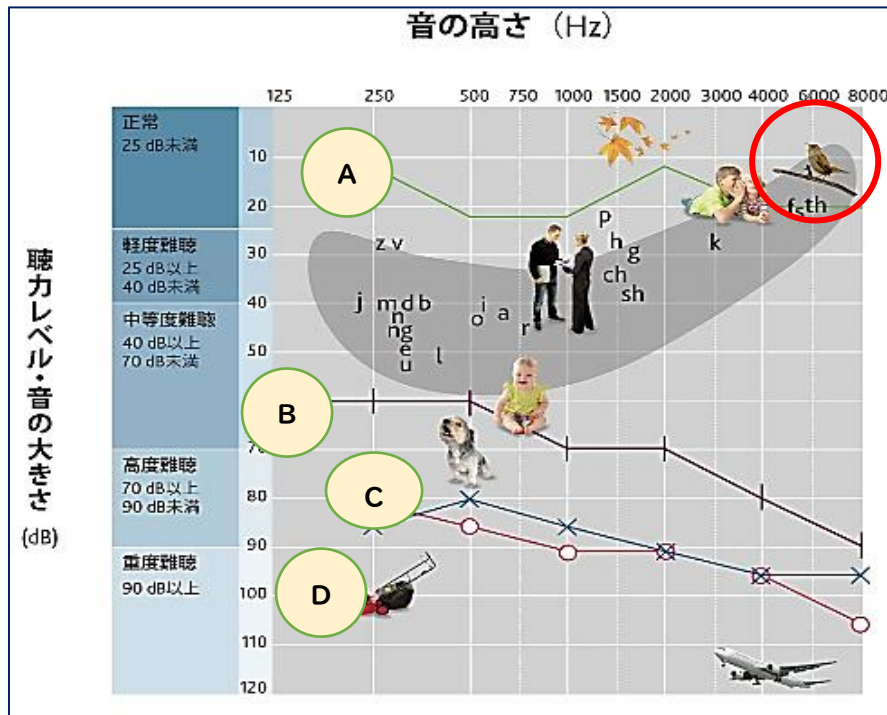


耳や髪の毛に水分が残っていると、補聴器の故障の原因に!
汗もしっかりふきましょう!

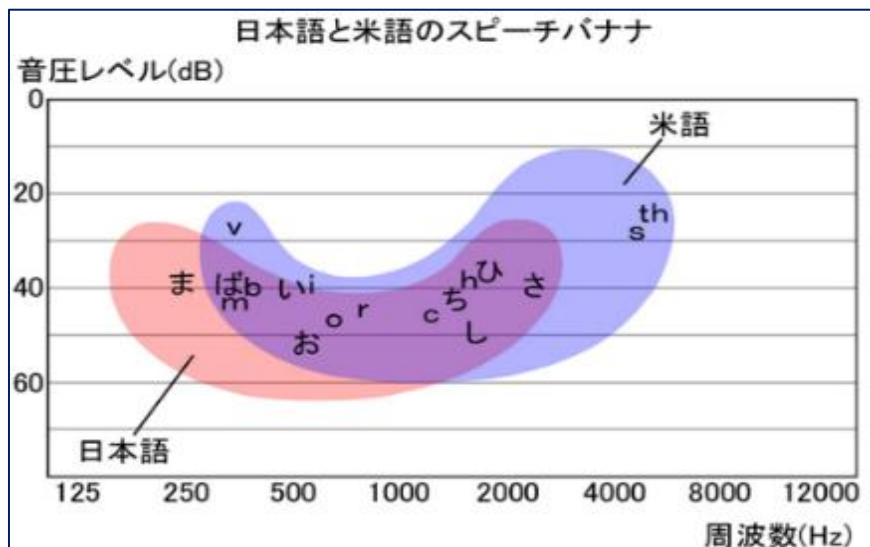
児童生徒によっては個人のドライヤー持参と使用をお願いしています。

～オーディオグラム(聴力検査結果)からわかること～

今回はオーディオグラムから分かる「言葉の聞き取り」(特に英語)に関わることや支援例について、情報共有させていただきます。



Cochlear(コクレア)社*HP より↑ リザック(補聴器店)HP より↓



英語検定での合理的配慮

高校入試等と同様、英語検定でも受検上の配慮を行っています。
申し込みメ切は通常の申し込みより1週間くらい早く、提出書類の準備も必要です。詳細は英検 HP をご覧ください。

長岡聾学校「夏のきこえ相談会」7/24(金)~8/5(水)

県特別支援教育推進室から中・上越の中小・支援学校、高校へ6月上旬に案内が届く予定です。校内できこえが気になるお子さんへご紹介の上、お申し込みは学校からお願いいたします。この時期の他に、乳幼児から高校生まで1年間相談を行っています。

左の図のアルファベットは、話す時に使う音(おん)で、その位置がバナナのように見えることから「スピーチバナナ」と呼ばれています。

左下の図で表された「日本語と米語(英語)のスピーチバナナ」によると英語は、日本語よりも高い周波数を必要とするとのことです。難聴があると全体的にきこえにくいだけでなく、s、thなどの高い方の周波数がきこえにくい場合があり、英語の学習が難しいと感じる原因の一つとなります。

小学校も外国語活動や外国語が導入され、楽しそうな活動に対していろいろ工夫されていると思います。

支援例として、「英単語や英文にひらがなやカタカナで読み方をつける」という方法もあります。当通級では、在籍校の先生に事情をお伝えし、生徒が希望すれば、英語や英文に読み方をつけたものを渡しています。「分かるようになりました」、「テストの点数が上がりました」と言ってくれる生徒もいました。次第に単語や発音記号を覚えて、「読み方はなくても、もう大丈夫です」という生徒もいます。

アルファベット(大文字、小文字)やローマ字を覚える、外来語を正しい名前でも覚えることで学習のしやすさに繋がります。

*参照 難聴児・生徒理解ハンドブック-通常の学級で教える先生へ(学苑社:白井、小網、佐藤)

英検受検上の配慮について HP より
<https://www.eiken.or.jp/eiken/apply2/specialneeds.html>